

2026年度授業概要

専門学校穴吹ビューティカレッジ
ビューティコーディネーター学科1年

※授業は1回90分とする

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
メイク	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
4単位 (120時間)	必須		阿部 友美	
授業の概要				
・スキンケア、メイクアップの基礎知識と技術を養う				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容部員としての身だしなみ、知識を習得 ・顔立ちを理解したベーシックメイクができる ・お客様の要望に沿ったメイク提案と技術が提供できる ・ケサランパサランメイクアップ検定合格 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験、次回課題に向けた事前準備 ・ブランド、企業研究(夏休みの宿題) 				
回	テーマ	内容		
1~2	化粧品、顔立ちについての基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・ツールの名称、使用方法、お手入れ方法について ・各部位の名称及び特徴と印象・顔立ちについて 		
3~4	色の知識、形と印象	<ul style="list-style-type: none"> ・色の基礎知識・様々な形と印象・目の錯覚効果 		
5~16	ベーシックメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックメイク実技(パーツ毎確認テスト)・スキンケア~ベースメイク、ポイントメイク実技(確認テスト) 		
17~24	ケサランパサランメイクアップ検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ナチュラルメイク実技・キュートメイク実技 ・クールメイク実技 		
25~29	ケサランパサランメイクアップ検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ナチュラルメイク実技・キュートメイク実技 ・クールメイク実技 		
30~31	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ケサランパサランメイクアップ検定確認テスト 		
32~33	ケサランパサランメイクアップ検定	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内検定実施(前期穴吹コンテスト第1課題) 		
34~38	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク対応練習 		
39~40	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク対応練習(合同授業) 		
41~44	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク対応練習 		
45~46	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク実習メイクサロン対応確認テスト(合同授業) 		
47~48	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク対応練習 		
49~50	特殊メイク特別授業	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊メイクデモンストレーション見学 ・傷メイク実習 		
51~52	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テストフィードバック ・ボディジュエリー実習(合同授業) 		
53~54	後期期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークフルメイク対応ロールプレイング(後期穴吹コンテスト第1課題) 		
55~60	サロンワーク準備 福祉メイク	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク準備 ・福祉メイクについて 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布プリント		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール等)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位 (120時間)	必須		岑永朱理・大西歩未
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルに関する知識と技術を学ぶ ・ネイルケア、カラーリング、チップラップ技術を学ぶ 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイリスト技能検定試験3級、2級合格 ・ネイルケア技術の習得 ・サロンワークで通用するネイルケア、チップラップ技術の習得 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	ネイリストとして10年間ネイルサロンに勤務。実務に沿った教育を行う(岑永) 日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等21年の認定講師経験を生かした教育を行う(大西)		
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・検定記述試験に向けた過去問題の答練 ・教科書を使った事前予習 			
回	テーマ	内容	
1~2	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の確認と使用方法の説明・検定試験について ・ネイルの歴史、ネイル技術体系、爪の構造と働き 	
3~4	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルのための皮膚科学、生理解剖学・爪や皮膚の病気とトラブル・消毒法・トリートメント理論・化粧品学 	
5~6	ネイル基礎理論	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩理論・プロフェッショナリズム・ネイルカウンセリング・ネイルサロン環境・衛生基準と関連法規 	
7~9	テーブルセッティングとモデルハンドの仕込み	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルセッティング ・モデルハンドの仕込みの仕方 	
10~12	カットスタイルの種類とファイリング	<ul style="list-style-type: none"> ・カットスタイルについて ・ファイリング 	
13	クリーンナップとカラーリング	<ul style="list-style-type: none"> ・メタルプッシャーとキューティクルニッパーの使い方・カラーリングの方法 	
14~16	ネイルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイリング確認テスト ・ファイル、プッシャー、ニッパー練習 	
17~19	ケアカラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル、プッシャー、ニッパー練習(モデルハンド)・ケアカラー手順に沿った技術(相モデル) 	
20~30	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・3級検定試験内容での実技と確認テスト ・3級筆記試験 	
31~32	前期期末実技試験確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・3級検定試験内容での実技と確認テスト 	
33~35	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験内容での実技と筆記の最終チェック ・テーブルセッティングと道具の最終チェック 	
36~37	前期期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアカラー実技試験 	
38~40	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・2級検定に向けてのケアとカラーリング ・2級課題アートと筆記試験 	
41~42	チップラップ	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーション ・チップラップ実技 	
43~44	チップラップ	<ul style="list-style-type: none"> ・チップラップ実技 	

回	テ ー マ	内 容		
45～ 54	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・2級検定試験内容での実技と確認テスト ・2級筆記試験 		
55～ 57	後期期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末実技試験内容での実技試験 		
58～ 60	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験内容での実技と筆記の最終チェック ・テーブルセッティングと道具の最終チェック 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・JNAテクニカルシステムベーシック		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥・かぶれ等注意。キューティクルニッパの取り扱い注意。接着剤使用時皮膚に触れないよう注意。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
クリエイティブメイク	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位(60時間)	必須		大久保 たまき	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・実践に活かせるメイクの応用を学ぶ ・ヘアの基礎とフォトコンテスト用の撮影向けのメイクを学ぶ ・モデルや顧客に対する似合わせの感覚を養う 				
授業終了時の到達目標				
・コンテストや作品に活かせるメイクの応用、ヘアアレンジの基礎を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容室勤務6年目、現役で美容業に従事しながらサロン内外で行っている作品撮りの経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・各課題に向けて事前のリサーチ、準備を行う				
回	テーマ	内 容		
1	授業概要 シラバス説明、動機付け	<ul style="list-style-type: none"> ・授業概要について説明 ・シラバス説明、動機付け 		
2~4	トレンド研究	<ul style="list-style-type: none"> ・トレンド把握のためのプレゼンシート作成 ・メイク実習 		
5~6	コピーメイク	<ul style="list-style-type: none"> ・作品向けのメイク作品を作るための基礎を勉強 ・提示された課題と同じメイクを施す 		
7~15	ケサランパサランメイクアップフォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンシート作成、ラフ案チェック ・ヘアメイクと撮影 		
6~21	JMAメイクアップフォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンシート作成、ラフ案チェック ・ヘアメイクと撮影 		
22~30	修了制作	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンシート作成、ラフ案チェック ・ヘアメイクと撮影 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		確認テスト 期末試験 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 30.0% 20.0% 20.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚に直接触れるもの(アルコール等)については使用時乾燥かぶれ等注意 ・実習実技評価：課題作品で評価を行うものとする

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイルアート	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (60時間)	必須		岑永 朱理
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルアートに関する基本的技術を学び、ネイリスト検定3級と2級の課題アートを制作 ・サロンワークに向けたアート技術の習得 ・ネイルアート作品の制作 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイリスト検定3級、2級の課題アートを合格レベルで時間内に制作できる ・サロンワークで使えるネイルアートを含めた作品制作、ネイリスト検定3級と2級課題アート合格レベルの作品制作ができる 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	ネイリストとして10年間ネイルサロンに勤務。実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修			
・ネイリスト検定合格に向けたネイルアートの練習			
回	テーマ	内容	
1~2	ネイルアートの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・アクリルガッシュを使ったネイルアート ・フラットアート 	
3~4	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った作品制作(フラワー) 	
5~6	エンボスアート	<ul style="list-style-type: none"> ・エンボスアート(5枚花) 	
7~8	エンボスアート	<ul style="list-style-type: none"> ・エンボスアート作品制作 	
9~10	3級アート対策	<ul style="list-style-type: none"> ・3級検定課題アート(花)対策 	
11~12	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> ・TATコンテスト作品制作 	
13~15	2級アート対策	<ul style="list-style-type: none"> ・2級検定課題アート対策(ランダムテーマ) 	
16~17	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> ・水彩フラワーアート 	
18~19	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> ・アート 	
20~21	ネイルアート	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った作品制作(クリスマスアート) 	
22~23	ジェルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュアンスネイル 	
24~25	ジェルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・アニマル柄(ひょう柄) 	
26~28	サロンワーク練習	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークデザイン練習とサンプル作り 	
29	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末実技試験内容での実技確認テスト 	
30	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末実技試験内容での実技試験 	
教科書・教材		評価基準	評価率
<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料 		確認テスト 課題・レポート 実習・実技評価	35.0% 35.0% 30.0%
			その他
			皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥・かぶれ等注意 キューティクルニッパーの取り扱い注意。接着剤使用時皮膚に触れないよう注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
エステティック	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (60時間)	必須		大西 香織	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・内面美容の理論と肌トラブルへの適切な対処法を学ぶ ・的確な肌分析に基づき、最適な施術を提案する力を養う ・各部位のトータルな手技と、心身を癒やす技術を理解する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容、健康、癒しを提供するエステやホテルスパ業務で必要とする基礎的な知識と技術の習得 ・ハンドマッサージの施術ができる ・フェイシャルの施術ができる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャン・ネイリストとして23年、サロン経営者として5年間の実務経験を活かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・技術の復習 ・テキストを使った予習復習 				
回	テーマ	内容		
1	エステとは	・エステティックについて		
2	ハンドトリートメント	・スキントッチの重要性		
3~4	内面美容	<ul style="list-style-type: none"> ・肌トラブルの原因と対策 ・セルフスキンケア 		
5~6	肌分析・カウンセリング	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングについて・手法 ・カウンセリングの実践 		
7~8	肌分析・カウンセリング 確認テスト	・カウンセリング、クレンジング、マッサージ		
9~10	フットケア 確認テスト	・フットマッサージ		
11~15	フットケア	<ul style="list-style-type: none"> ・足湯、ゴマージュ、角質除去、マッサージ ・20分フットケア+ネイル40分課題提出 		
16~17	フェイシャルエステ	・事前準備、クレンジング習得		
18~19	フェイシャルエステ	・フェイスからデコルテマッサージ習得		
20~21	ヘッドマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドマッサージの効果を理解する ・マッサージ習得 		
22~23	健康と癒し	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイエット概論、体の分析・体質check ・癒し体験 		
24~25	カラーセラピー	・色の持つ様々な効果を理解し、サロンワークで使える知識を習得		
26~27	ハンドケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドケアの効果を理解する ・カウンセリング、マッサージ習得 		
28~30	ハンドケア 確認テスト	・お客様のお迎え、施術、お見送りまで一連の流れを習得		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・美肌検定の教科書 ・配布プリント 		実習・実技評価 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
ジェルネイル	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位 (50時間)	必須		大西 歩未	
授業の概要				
・ジェルネイルに関する基礎理論と技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル技能検定試験初級合格 ・サロンワークで基本的なジェルカラーリングの技術ができる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等21年の認定講師経験を生かした教育を行う			
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・検定記述試験に向けた過去問題の答練 ・教科書を使った事前予習 				
回	テーマ	内 容		
1～3	ジェルネイル基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎理論 ・ジェルネイル基礎技術 		
4～5	ジェルネイル技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルカラーリングの基礎 ・ジェルアート技術 		
6～9	ジェルネイル技術	<ul style="list-style-type: none"> ・初級検定試験内容での実技 		
10～11	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・実技確認テスト 		
12～13	ジェルネイル技術	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークに向けた技術練習 ・ジェルフレンチ・サロンアート 		
14～15	サロンワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークに向けた準備 		
16～17	後期期末実技試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末実技試験内容での実技 		
18～20	後期期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末実技試験内容での実技試験 		
21～25	サロンワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークに向けた準備と技術練習 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配付プリント		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	ネイル材料については火気厳禁、保存時密栓、直射日光や高温多湿を避ける 皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥・かぶれ等注意 ジェルが皮膚に付着したままにならないよう注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
アロマセラピー	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位 (46時間)	必須		梶浦 幸代
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーの基礎知識を身につけ、アロマセラピー検定内容を理解する ・心身の健康と美に役立つアロマセラピーを理解し、アロマセラピーを実践する力を養う 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーの基礎知識を身につけ検定内容を理解する ・心身の健康と美に役立つアロマセラピーを理解し実践する力を養う ・アロマセラピー検定1級合格 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	アロマセラピストとして23年間の実務経験を生かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修			
・アロマセラピー検定合格に向けて、授業で学んだ範囲の問題集を解く			
回	テーマ	内容	
1	アロマセラピーの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーの定義と精油の定義を理解する ・精油 スイートオレンジ、ゼラニウム 	
2	精油の性質と植物の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・精油の作用と性質を理解する ・精油 ティートリー、フランキンセンス 	
3	精油の抽出方法と選び方 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・精油の抽出方法を理解する ・精油 ペパーミント、ユーカリ 	
4	アロマセラピーの安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・精油の安全な使用方法と注意事項を理解する ・精油 ラベンダー、レモン 	
5	アロマセラピーに役立つ素材 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーに役立つ素材の種類や特性を理解する ・精油 ローズマリー、ローズオットー 	
6	アロマセラピーの用具と精油の滴数 計算	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーに必要な用具と精油の滴数計算を理解する ・精油 ローズアブソリュート 	
7	アロマセラピーの利用法①② 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香浴法・アロマスプレー、沐浴法、吸入法を理解する ・精油 クラリセージ、グレープフルーツ 	
8	アロマセラピーの利用法③④ 実習ルームスプレー	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルスチーム、湿布法、トリートメント法 ・精油 ジュニパーベリー、スイートマージョラム 	
9	アロマセラピーのスキンケア①② 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・日常のアロマケアを理解する ・精油 ベルガモット、レモングラス 	
10	2級座学、精油の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマノート・精油ノート問題集 ・精油 ローマンカモミール・ジャーマンカモミール 	
11	2級検定問題テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定2級問題集①② ・精油 サンダルウッド・サイプレス 	
12	前期期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定3級問題集①② ・精油 ブラックペッパー、イランイラン 	
13	前期期末試験	・前期期末試験	
14	アロマセラピーのメカニズム	<ul style="list-style-type: none"> ・精油が心身に伝わる仕組みを理解する ・精油 メリッサ・ミルラ 	
15	ビューティ&ヘルスケア①② 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠・女性ホルモンとアロマセラピーの関わりを理解する ・精油 ベンゾインレジノイド、ベチバー 	
16	アロマセラピーの歴史①②	<ul style="list-style-type: none"> ・古代・中世の歴史と香りの関わりを理解する ・精油 ジャスミン、ネロリ 	

回	テーマ	内 容		
17	アロマセラピーの歴史③誕生④ 確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・近世から近代・アロマセラピーの誕生を理解する ・精油 パチュリ 		
18	アロマセラピーに関する法律① アロマセラピーに関する法律②	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー関連法規を理解する 		
19	1級座学、精油の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・精油1級問題集 		
20	1級検問題テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定対策、 ・公式問題集 		
21	アロマセラピー検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定対策、公式問題集 ・アロマセラピー検定1級過去問答 		
22	後期期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定2級、1級 ・アロマノート、精油ノート復習 		
23	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末試験 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピー検定公式テキスト ・アロマセラピー検定公式問題集 ・配布プリント 		確認テスト 課題・レポート 期末試験 実習・実技評価	30.0% 30.0% 30.0% 10.0%	皮膚に直接触れる もの(アルコール 類)については使用 時乾燥かぶれ等注 意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
パーソナルカラー	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位 (46時間)	必須		上杉 康代
授業の概要			
・美容業界で活用できる色彩知識を学習する			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラーの基礎知識と色を見分けるポイントを習得 ・色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1合格 			
実務経験有無		実務経験内容	
有		商品開発職として通信販売会社に6年勤務 その商品開発職で培った色彩知識を生かし検定合格を目指した教育を行う	
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・配色カード演習や雑誌等からのコラージュを行う ・授業内容を復習する事に加え日々、美容やファッション等の色彩に興味を持つ 			
回	テーマ	内容	
1	パーソナルカラー検定について	・パーソナルカラーとは	
2	色の属性	<ul style="list-style-type: none"> ・色の成り立ち ・色の四属性 	
3~4	色のものさし	<ul style="list-style-type: none"> ・PCCSとは、PCCSの色相環 ・トーン・確認テスト 	
5	色を見るための条件	<ul style="list-style-type: none"> ・光・物体・目 ・確認テスト 	
6	色彩の心理	<ul style="list-style-type: none"> ・色の心理効果 ・確認テスト 	
7~10	フォーシーズン分類	<ul style="list-style-type: none"> ・各シーズンのコラージュ作成 ・確認テスト 	
11~12	配色方	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の配色法・基本の配色技法 ・確認テスト 	
13	前期期末試験	・前期期末試験、解説	
14~17	パーソナルカラー診断	・似合う色の効果	
18~21	過去問答練	・過去問答練	
22	後期期末試験	・後期期末試験、解説	
23	過去問答練	・過去問答練、検定直前対策	
教科書・教材		評価基準	評価率
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩技能パーソナルカラー検定公式テキストモジュール1 ・新配色カード199a 		<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 確認テスト 課題・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 40.0% 30.0% 30.0%
			その他

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
皮膚科学	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	講義
単位数または時間数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
3単位(46時間)	3単位(46時間)	必須	栗尾 都

授業の概要

- ・皮膚の働きと仕組みを理解し、肌を美しく健康に保つためのスキンケア方法を学ぶ
- ・皮膚の状態を把握し、お客さまに適切なアドバイスができる知識を養う

授業終了時の到達目標

- ・皮膚の働きしくみの知識を活かして、スキンケア等のアドバイスがお客さまにできるようになる
- ・お客さまお肌状態にあったアドバイス、商品の紹介ができるようになる
- ・日本化粧品検定2、3級合格

実務経験有無

実務経験内容

有

エステティシャンとして11年、講師として16年(内11年は認定講師)、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師の国家資格保持者としての経験を活かし、実践に沿った教育を行う

時間外に必要な学修

- ・事前にシラバスを確認し、教科書等で学習内容を予習しておく

回	テーマ	内容
1	美容家の心構えと学ぶ目的	・美容業に携わる心構えと検定を受ける目的
2	皮膚の構造としくみ	・皮膚の構造(皮膚断面図) ・皮膚のしくみと働き
3	皮膚の構造としくみ	・皮膚断面図確認テスト① ・表皮の構造と働き
4	皮膚の構造としくみ	・表皮断面図確認テスト② ・真皮の構造としくみ
5	皮膚の構造としくみ	・真皮断面図確認テスト③ ・皮膚の付属器官、皮膚の作用
6	皮膚の構造としくみ	・皮膚の付属器官確認テスト④ ・復習
7	肌タイプの見分け方とお手入れ	・肌タイプの見分け方、季節と肌
8	肌悩みの原因とお手入れ	・乾燥肌、ニキビ、毛穴、シミ
9	肌悩みの原因とお手入れ	・くすみ、くま、しわ、たるみ ・肌悩みの原因確認テスト⑤
10	カウンセリング	・カウンセリンググループワーク、レポート提出
11	前期末試験対策	・前期復習
12	前期期末試験	・前期期末試験実施
13	生活習慣美容	・睡眠、食事と飲み物
14	生活習慣美容	・運動、入浴 ・確認テスト①
15	筋肉・ツボ・リンパ	・筋肉、ツボ、リンパ

回	テ ー マ	内 容		
16	筋肉・ツボ・リンパ	<ul style="list-style-type: none"> ・身体のマッサージ、顔のマッサージ ・確認テスト② 		
17～ 21	日本化粧品検定2級対策	<ul style="list-style-type: none"> ・検定過去問題 ・レポート提出 		
22	後期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習 		
23	後期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期末試験 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・コスメの教科書(日本化粧品検定2級対策テキスト) 		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
化粧品学	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
3単位 (50時間)	必須		阿部 友美	
授業の概要				
・化粧品についての基礎知識を学習する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・肌悩みの原因に適した有効成分が説明できる ・さまざまな肌ダメージとその対策について説明できる ・日本化粧品検定2、3級合格 ・美容部員、ネイリストとして化粧品の説明ができるレベルの知識を習得 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・日本化粧品検定2級合格に向けて授業の復習を行う				
回	テーマ	内 容		
1~3	化粧品の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアの基本・肌悩みの対処法・スペシャルケア ・お手入れの手順・メイクアップの基本 		
4	確認テスト 日本化粧品検定3級	<ul style="list-style-type: none"> ・日本化粧品検定3級確認テスト ・日本化粧品検定3級授業内実施 		
5~7	メイクアップの基本テクニック 肌悩みに応じた化粧品の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の使用方法とメイクアップの基礎知識 ・肌悩み毎の正しい使用方法・各確認テスト 		
8	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・前期期末試験確認テスト ・日本化粧品検定2級内容復習 		
9	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験対策 ・前期期末試験 		
10~14	肌を劣化させるさまざまな要因 紫外線が肌に与える影響	<ul style="list-style-type: none"> ・内的要因、外的要因・紫外線とUV化粧品の基礎知識 ・各確認テスト 		
15~22	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日本化粧品検定2級対策 ・確認 		
23	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末試験確認テスト ・日本化粧品検定2級内容復習 		
24	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験対策 		
25	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・日本化粧品検定2級対策 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・コスメの教科書(日本化粧品検定2級対策テキスト)		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
サロンワーク	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/後期	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
1単位(30時間)	必須		阿部 友美	
授業の概要				
・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけでなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・就職時に即戦力になれるようプロの接客技術を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・サロンワークに必要な技術を理解するために、学んだ技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~6	サロンワーク実践	<ul style="list-style-type: none"> ・全体、各サロン別ミーティング・接客、技術チェック ・サロン実務・レポート作成 		
7~15	サロンワーク実践	<ul style="list-style-type: none"> ・全体、各サロン別ミーティング・接客、技術チェック ・サロン実務・レポート作成 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布プリント		課題・レポート 出席率 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
社会人基礎講座	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位(40時間)	必須		阿部 友美	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人になるための人格形成と就職活動に必要な知識を学ぶ ・実務実習、就職活動に向けての事前準備 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基本的な考え方を身に付ける ・就職活動の方向性を決め、履歴書や自己PRを完成させる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・自己分析、自己プロフィール等の作成				
回	テーマ	内容		
1	全体集会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体集会 ・リーダー任命式 		
2~3	ネイリストキャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・技術向上のセオリー・マナーとホスピタリティ・コンプライアンス(法令遵守)・SNS対策 		
4	浴衣着付	<ul style="list-style-type: none"> ・浴衣着付体験 		
5	全体集会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体集会 ・防犯教育 		
6	就活準備	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析 ・自己PR、履歴書作成 		
7~8	英会話	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク実習における英会話での対応 		
9	就活準備	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析 ・自己PR、履歴書作成 		
10	表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・穴吹コンテスト表彰式 ・大掃除 		
11~15	就活準備	<ul style="list-style-type: none"> ・面接練習 		
16~19	就職研修	<ul style="list-style-type: none"> ・電話対応、訪問時、面接等のロールプレイング 		
20	全体集会	<ul style="list-style-type: none"> ・全体集会 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・就勝ゼミ教材 ・就職の手引き 		課題・レポート	100.0%	実習実技評価の対象：前期(就活準備)・後期(就職研修)

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
接客マナー	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/通年	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位 (60時間)	必須		猪塚 隆一
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ビューティアドバイザーやネイリストとしてだけでなく、一社会人としての心構えと接客マナーを兼ね備えた人材となるため、基本的なマナーの知識と技術を学ぶ ・サービス接客検定準1級を取得する 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての心構えを持つ ・ビューティアドバイザー、ネイリストとして感じのよい接客ができる ・サービス接客検定準1級合格 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	ホテルマンとして7年間県内ホテルに勤務 ホテルマンの経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修			
・事前にシラバスを確認し、教科書等で学習内容を予習しておく			
回	テーマ	内容	
1	サービス接客検定についてマナーとは	・サービス接客検定2・準1級の概要、ビューティアドバイザーやネイリストに求められるマナーとは	
2	サービス接客2級記述対策	・掲示文の作成	
3	サービス接客2級記述対策確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語練習問題 ・掲示文確認テスト 	
4	サービス接客2級記述対策	・敬語、記述対策	
5	サービス接客2級対策確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・交際業務 ・敬語、記述確認テスト 	
6~9	サービス接客2級検定対策	・過去問題 解答、解説	
10	確認テスト対策 サービス接客検定ロープレ	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト振り返り ・ロープレについて 	
11	前期期末筆記試験	・前期期末筆記試験(サービス接客2級筆記内容)	
12~13	サービス接客検定ロープレ	・基本言動~接客対応~接客応答	
14	サービス接客検定ロープレ確認テスト	・基本言動~接客対応~接客応答	
15	前期期末実技試験	・前期期末実技試験(サービス接客準1級実技内容)	
16~17	電話対応の基本	・電話の受け方、かけ方	
18~19	電話対応の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークのアポイントメント ・電話対応ロープレ 	
20	ビジネス文書、メールの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス文書の基本 ・ビジネスメールの作成 	
21	後期期末実技試験	・後期期末実技試験(電話対応)	
22~23	サロンワーク準備	・サロンワーク準備	

回	テ ー マ	内 容		
24～ 25	実務実習指導会	・ 実務実習の心得		
26～ 27	実務実習報告会	・ 実務実習報告会 ・ お礼状作成		
28～ 30	始業式 実務実習報告会	・ 実務実習報告会 ・ お礼状作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 配布資料による		期末試験 実習・実技評価 確認テスト 課題・レポート	30.0% 30.0% 20.0% 20.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
実務実習	ビューティコーディネーター学科/1年	2026/後期	実習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (60時間)	必須			
授業の概要				
・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・職場を知り、仕事を知り、働く人間を理解した上で自らの将来を展望する ・職業人として、「働く意味」「やりがい」「規律」「チームワーク」「マナー」を習得する 				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
・企業及びサロン研究を行う				
回	テーマ	内容		
1~15	職場体験①	・接客、清掃等さまざまなサロン内業務を通して職場を理解する		
16~30	職場体験②	・接客、清掃等さまざまなサロン内業務を通して職場を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・就職の手引き		実習・実技評価 出席率	60.0% 40.0%	

2026年度授業概要

専門学校穴吹ビューティカレッジ
ビューティコーディネーター学科2年

※授業は1回90分とする

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
メイク	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
4単位 (120時間)	必須		阿部 友美
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケア、メイクアップの応用を学ぶ ・美容部員としての販売技術や説明能力を習得 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・顔立ちに合わせたメイク、お客様の要望に合わせたメイクなどの応用技術を習得する ・美容部員としての説明能力を習得 ・お客様のニーズに合わせて商品提案、紹介ができる ・短時間でタッチアップをしながら、商品を販売できる 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から積極的に応対研究を行う ・確認テスト、期末試験に向けて事前準備を行う 			
回	テーマ	内容	
1~10	スキンケア応対練習	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 ・美容部員としての印象管理・レシピ作成確認テスト 	
11	メンズメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> ・メンズメイク実習準備 	
12~20	スキンケア応対練習	<ul style="list-style-type: none"> ・春夏の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 ・美容部員としての印象管理 	
21~22	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・前期期末実技試験確認テスト(スキンケア応対ロールプレイング)・レシピ内容フィードバック 	
23	メンズメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> ・メンズメイク実習(美容学科1年生合同授業) 	
24~25	前期期末実技試験	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケア応対ロールプレイング(前期穴吹コンテスト第1課題) 	
26~28	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク実習(メイクサロン)応対練習 ・メイクサロン応対確認テスト 	
29~30	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク応対練習(合同授業) 	
31~32	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク実習(メイクサロン)応対確認テストモデル(合同授業) 	
33~36	ベースメイク応対練習	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 ・タッチアップ確認テスト 	
37~40	特殊メイク特別授業	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊メイクデモンストレーション見学と実習、撮影 	
41~42	サロンワーク実習準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディジュエリー実習(合同授業) ・確認テストフィードバック 	
43~44	ヘアアレンジモデル	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアレンジモデル(美容学科1年生合同授業) ・冬の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 	
45~52	ベースメイク応対練習	<ul style="list-style-type: none"> ・秋冬の季節と肌・肌質の見極め・肌悩みの原因 ・タッチアップ確認テスト 	

回	テ ー マ	内 容		
53~ 55	確認テスト	・後期期末実技試験確認テスト(ベースメイク販売ロールプレイング)・確認テストフィードバック		
56~ 57	後期期末実技試験	・ベースメイク販売ロールプレイング(後期穴吹コンテスト第1課題)		
58~ 60	福祉メイク サロンワーク準備	・福祉メイク ・サロンワーク準備		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布プリント		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れる もの(アルコール 等)については使用 時乾燥かぶれ等注 意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
3単位 (90時間)	必須		岑永 朱理
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルに関する専門的知識と技術、ペディキュア技術を含めた総合的知識、サロンワークで通用するネイル技術全般を学ぶ ・ネイルアート作品制作 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークで通用する技術と知識を身に付けている ・サロンワークで使えるネイルアートを含めた作品制作ができる 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	ネイリストとして10年間ネイルサロンに勤務。実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修			
・技術の反復練習			
回	テーマ	内容	
1~2	ケアカラー技術	・学内予選に向けた技術練習	
3~4	学内予選	・全日本ネイリスト選手権 学内予選	
5~6	ミックスメディアアート復習	<ul style="list-style-type: none"> ・エンボスアートの復習・3Dアートの作り方(バラ) ・ミックスメディアアート 	
7~8	ブライダルネイル	・ブライダルネイル作品とボード制作	
9~12	フットケア	・フットケア、フットジェル実技	
13~14	前期期末実技試験対策	・前期期末実技試験対策	
15~16	確認テスト	・前期期末実技試験内容での実技確認テスト	
17~18	前期期末実技試験	・前期期末実技試験内容での実技試験	
19~20	検定対策(ミックスメディアアート)	・検定試験課題でのアート対策	
21~22	ネイルアート	・サロンデザインアート(たらしこみ、水彩デザイン)	
23~24	クリスマスアート	・テーマに沿った作品制作(クリスマスアート)	
25~26	ミックスメディアアート 作品制作	・立体キャラ制作 1本	
27~28	サロンワークサンプル作り	・サロンワークサンプル作り	
29~30	合同授業	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク実習に向けた技術と接客確認 ・1年生へのサロンワーク指導と接客トレーニング 	
31~32	合同授業	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワーク実習に向けた技術と接客確認 ・1年生へのサロンワーク指導と接客トレーニング 	

回	テ ー マ	内 容		
33～ 34	キャラアート	・ テーマに沿った作品制作(フラットアート・キャラネイル)		
35～ 36	期末試験対策	・ 後期期末実技試験内容での実技試験対策		
37～ 39	期末試験対策	・ 後期期末実技試験内容での実技試験対策		
40～ 41	確認テスト	・ 後期期末実技試験内容での実技確認テスト		
42	期末試験対策	・ 後期期末実技試験内容での実技試験対策		
43～ 44	後期期末試験	・ 後期期末実技試験内容での実技試験		
45	ネイルアート	・ サロンデザインアート(ぷっくりアート)ニット、キルティング		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 配付資料		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
クリエイティブメイク	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
4単位 (120時間)	必須		大久保 たまき	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテスト出品作品を制作することで作品作りのプロセスを理解する ・撮影用のヘアメイクなどの応用スキルを習得することで様々な場面への対応力を養う ・応用を勉強することで改めてメイクの基礎力向上を図る 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・フォトコンテストでの入賞を目指し、撮影向けのヘアメイクスキルを習得 ・基本のメイクからコンテスト用のヘアメイクまでできるようになることで、メイクアップによる印象操作、モデルへの似合わせ力を習得 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	美容室勤務6年目、現役で美容業に従事しながらサロン内外で行っている作品撮りの経験を活かし実務に沿った教育を行う			
時間外に必要な学修				
・各課題に向けて事前のリサーチ、準備を行う				
回	テーマ	内容		
1～8	ケサランパサランメイクアップフォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作の基礎 ・作品企画、エントリーシート作成・作品制作、撮影 		
9～17	ICAMメイクアップフォトコンペティション	<ul style="list-style-type: none"> ・作品企画、エントリーシート作成 ・作品制作、撮影 		
18～25	ラグゼビューティヘアメイクフォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・作品企画、エントリーシート作成 ・作品制作、撮影 		
26～35	JMAメイクアップフォトコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・作品企画、エントリーシート作成 ・作品制作、撮影 		
36～60	卒業制作①②③	<ul style="list-style-type: none"> ・作品企画 ・作品制作、撮影 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		確認テスト 期末試験 課題・レポート 実習・実技評価	30.0% 30.0% 20.0% 20.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール等)については使用时乾燥かぶれ等注意 実習実技評価：課題作品の評価とする

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
アクリルネイル	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	演習
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
5単位 (150時間)	必須		大西 歩未
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・スカルプチュアネイルに関する知識と技術を学ぶ ・ネイリスト検定1級のネイルイクステンション(スカルプチュアネイル、チップオーバーレイ)をモデルハンドを使って作る 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイリスト技能検定試験1級合格又は合格レベルの知識と技術習得 ・サロンワークにおいて正しい知識と技術を持って施術ができるようになる 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師経験等21年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修			
・検定要項の熟読と理解、ネイルイクステンション技術の反復練習とチェック			
回	テーマ	内容	
1~2	アクリルネイルの基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・イクステンションの種類と用具用材の使用方法和注意点 ・化学重合の仕組み 	
3~4	スカルプチュア実技	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルフォームの仕込みと正しい装着 ・フリーエッジを作る 	
5~13	スカルプチュア実技	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション(ハイポイントを作る) ・ピンチングのタイミング 	
14~19	チップオーバーレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・チップの仕込みと装着の注意点 ・アプリケーションテクニック 	
20~30	スカルプチュア実技 チップオーバーレイ実技	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリケーション～ファイリングテクニック ・確認テスト(課題毎の小テスト) 	
31~39	反復練習と確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルハンドを使ってスカルプチュア5本オーバーレイ2本を完成させる・確認テストの振り返り 	
40~42	期末試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルハンドを使い90分でスカルプチュア5本を完成させる 	
43~45	期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・試験の準備と練習 ・前期穴吹コンテスト 	
46~65	検定試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・1級試験内容での実技と筆記試験対策 ・タイムトライアル/確認テスト/期末試験 	
66~75	サロンワークとボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークに向けた準備と外部ボランティア活動 	
教科書・教材		評価基準	評価率
<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料 		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%
			その他
			皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥かぶれ注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
メイクセラピー	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
5単位 (76時間)	必須		阿部 友美
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・メイクセラピーの概念を理解する ・関連業界でセカンドライセンスとしてメイクセラピーを活用できる知識と技術を養う 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・メイクセラピー2、3級合格 ・クライアントのなりたい印象、オーダーに伴ったメイクアップが施術できる ・クライアントの話を傾聴し共感できる ・クライアントの話を受容的に受け止めることができる 			
実務経験有無	実務経験内容		
有	美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験とメイクセラピー検定認定講師12年の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修			
・メイクセラピー検定に向けて授業の復習を行う			
回	テーマ	内容	
1~7	メイクセラピー検定3級対策	・メイクセラピーの事例・カウンセリング概論・顔と心と化粧の関係・スキンケア、メイクアップ概論・確認テスト	
8	メイクセラピー検定3級	・授業内検定試験実施(WEB試験)	
9~17	メイクセラピー検定2級筆記試験対策	・化粧心理学・メイクセラピー的心理学・カウンセリング概論・印象管理・メイク理論・確認テスト	
18	前期期末試験	・期末試験対策 ・前期期末試験	
19~26	メイクセラピー検定実技試験対策	・オーダーに伴ったメイクアップ実習 ・マナー面の採点ポイント	
27~29	メイクセラピー検定2級筆記試験対策	・論述問題対策	
30~32	確認テスト	・メイクセラピー検定2級筆記、実技試験確認テスト ・オーダーに伴ったメイクアップ	
33	後期期末試験	・期末試験対策 ・後期期末試験	
34~36	メイクセラピー検定2級	・授業内検定試験実施(筆記、実技)・オーダーに伴ったメイクアップ(後期穴吹コンテスト第3課題)	
37~38	サロンワーク準備	・サロンワーク準備	
教科書・教材		評価基準	評価率
<ul style="list-style-type: none"> ・メイクセラピー入門3級対策テキスト ・メイクセラピー検定2級対策 ・配布プリント 		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%
			その他 皮膚に触れるもの(アルコール等)については使用時乾燥やかぶれ等に注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
ジェルネイル	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
3単位 (70時間)	必須		大西 歩未	
授業の概要				
・ジェルグラデーション、ジェルフレンチカラーリング、ジェルイクステンション技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル技能検定試験中級合格 ・ジェルネイル技能検定試験上級合格 ・サロンワークでお客様に施術できるジェル技術の習得 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師経験等21年の認定講師経験を生かした教育を行う			
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・検定筆記試験に向けた過去問題の答練 ・検定実技試験に向けた自主練習 				
回	テーマ	内容		
1～3	ジェルネイル実技	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルグラデーション・ジェルフレンチカラーリング ・ジェルイクステンション 		
4～8	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル検定中級内容での実技と筆記試験対策 		
9～11	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル検定中級内容での実技確認テスト ・筆記模擬テスト 		
12～13	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験に向けた最終チェック 		
14～16	ジェルネイル検定中級	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・筆記試験 		
17～20	ジェルアート・ジェルチップオーバーレイ(デザイン)	<ul style="list-style-type: none"> ・上級に向けたジェルアート ・デモンストレーションと実技 		
21～23	ジェルクリアスカルプチュア・ジェルチップオーバーレイ(フレンチ)	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーション ・実技 		
24～29	検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル検定上級内容での実技試験対策 		
30～31	期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・後期穴吹コンテスト 		
32～33	確認テストと検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルネイル検定上級内容での実技確認テスト ・実技試験に向けた最終チェック 		
34～35	ジェルネイル検定上級	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料 		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	ネイル材料については火気厳禁、保存時密栓、直射日光や高温多湿を避ける。皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用時乾燥・かぶれ等注意。ジェルが皮膚に付着したままにならないよう注意。

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
パーソナルカラー	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
3単位 (44時間)	必須		上杉 康代	
授業の概要				
・美容業界で活用できる色彩知識とパーソナルカラーに関連のある総合的な技術および理論を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラーの実践的な知識とより細かく色を見分け分類する技能を習得 ・色彩技能パーソナルカラー検定モジュール2合格 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		商品開発職として通信販売会社に6年勤務 その商品開発職で培った色彩知識を生かし検定合格を目指した教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・配色カード演習や雑誌等からのコラージュを行う ・授業内容を復習することに加えて日々、美容やファッションを中心に色彩に興味を持つ 				
回	テーマ	内容		
1	パーソナルカラー検定について	・パーソナルカラーとは		
2	色の属性	・色の成り立ち, 色の四属性		
3~4	色のものさし	<ul style="list-style-type: none"> ・PCGSとは、PCGSの色相環 ・トーンとは・確認テスト 		
5	色を見るための条件	<ul style="list-style-type: none"> ・光・物体・目 ・確認テスト 		
6	色彩心理	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の心理効果 ・確認テスト 		
7~10	フォーシーズン分類	<ul style="list-style-type: none"> ・各シーズンのコラージュ作成 ・確認テスト 		
11~12	配色法	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の配色法・基本の配色技法 ・確認テスト 		
13	前期期末試験	・前期期末試験、解説		
14~17	パーソナルカラー診断	・似合う色の効果		
18~21	過去問答練	・過去問答練		
22	後期期末試験	・後期期末試験、解説		
23	過去問答練	・過去問答練、検定直前対策		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩技能パーソナルカラー検定 公式テキストモジュール2 ・新配色カード199a 		期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態
サロン経営学	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/前期	講義
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員
2単位 (30時間)	必須		今岡 智子
授業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ネイルサロンや化粧品カウンターなどの美容ビジネスにおける「経営の仕組み」を学ぶ ・持続可能な店舗運営を行うための基礎知識(マーケティング、財務、人事、法務)を体系的に習得する ・将来の独立開業や、店舗責任者(チーフ・店長)として活躍するための実践的な思考力を養う 			
授業終了時の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン経営に必要な収支構造(売上・経費・利益)を理解し、簡単な計算ができる ・ターゲット設定やSNS活用など、現代の美容業界に適した集客戦略を立案できる ・接客マナー、カウンセリング、リピート率向上のための顧客管理方法を説明できる ・美容業に関わる法令(薬機法、衛生管理等)を遵守した運営の重要性を理解する 			
実務経験有無		実務経験内容	
有		エステティシャンとして7年、認定講師として22年間の勤務経験を生かし実務に沿った教育を行う	
時間外に必要な学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・市場調査：競合となるサロンのサービス内容や価格帯、SNS運用状況をリサーチする ・自己分析：自身が将来開業したい、あるいは働きたい理想のサロン像を具体化する ・復習：毎回の講義で扱う経営用語や計算式を整理し、確認テストに備える 			
回	テーマ	内容	
1	経営学とは	・美容業界の現状と、技術者に「経営学」が必要な理由	
2	サロンコンセプトの設計 マーケティングの基礎	・「誰に・何を・いくらで」提供するか・3C分析やSWOT分析を用いた、サロンを取り巻く環境の把握	
3	メニュー開発と価格設定	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算、施術時間、客単価の相場 ・利益を出すための値付け 	
4	サロン財務①売上の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・客数 × 客単価の分解 ・新規客と再来客の比率 	
5	サロン財務②コスト管理 確認テスト	・固定費(家賃・人件費)と変動費(材料費・広告費)の理解	
6	集客戦略①SNSとWEB予約 集客戦略②アナログと口コミ	・Instagram、ホットペッパービューティー等の効果的な運用法・紹介制度、チラシ、看板、地域密着型のファン作り	
7	接客・カウンセリング学	・リピート率を左右する初動対応と、物販(店販)への繋げ方	
8	顧客管理 確認テスト	・カルテの活用、サンキューメール、離脱防止の施策	
9	人材育成とマネジメント	・スタッフ採用、教育カリキュラム、モチベーション管理	
10	店舗物件と内外装	・立地選定のポイント、保健所の検査基準、居心地の良い空間作り	
11	美容関連法規とリスク管理 確認テスト	・薬機法、景品表示法、損害賠償保険、クレーム対応	
12	教養の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい時代に求められる教養の必要性 ・教養がある人の特徴 	
13	事業計画書の作成	・将来のサロンの構想をまとめる実践	
14	最終プレゼンテーション まとめ	・考案したサロンモデルの発表	

回	テ ー マ	内 容		
15	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験範囲復習 ・ 前期期末試験実施 		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	・ 配布プリント	期末試験 確認テスト 課題・レポート	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
化粧品学	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
4単位 (56時間)	必須		阿部 友美	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> 化粧品成分、製品の種類や働きについて学ぶ 化粧品の歴史、法律などの幅広い知識を身につける 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> 日本化粧品検定1級合格 美容業界の接客において化粧品の成分や特徴について説明できる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> 日本化粧品検定に向けて授業の復習を行う 				
回	テーマ	内容		
1~9	日本化粧品検定1級対策	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史・化粧品の原料・スキンケア化粧品・ボディ化粧品・ヘアケア製品・確認テスト 		
10	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 前期期末試験確認テスト 		
11~12	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験対策 後期期末試験 		
13~25	日本化粧品検定1級対策	<ul style="list-style-type: none"> 香りの成分と働き・オーラルケア・サプリメント・化粧品にまつわるルール・確認テスト 		
26	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> 後期期末試験確認テスト 		
27~28	後期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> 期末試験対策 後期期末試験 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> コスメの教科書(日本化粧品検定2級対策テキスト) コスメの教科書(日本化粧品検定1級対策テキスト) 		<ul style="list-style-type: none"> 期末試験 確認テスト 課題・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> 40.0% 30.0% 30.0% 	

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
サロンワーク実習	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	演習	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
2単位 (60時間)	必須		大西 歩未	
授業の概要				
・サロンワークを通じて外部のお客様と接することにより技術だけではなく接客マナーを含めたサロンワーク技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・就職時に即戦力となれるようプロの接客技術を習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等21年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
・サロンワーク実習における応対練習				
回	テーマ	内容		
1	サロンワーク会議 接客マナー	・全体、各サロン別ミーティング ・サロンワーク準備		
2~ 15	サロンワーク実践	・接客技術チェック ・サロン実務・レポート作成		
16~ 21	サロンワーク実践	・全体、各サロン別ミーティング・接客技術チェック ・サロン実務・レポート作成		
22~ 30	サロンワーク実践	・全体、各サロン別ミーティング・接客技術チェック ・サロン実務・レポート作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布プリント		課題・レポート 出席率 実習・実技評価	40.0% 30.0% 30.0%	皮膚に直接触れるもの(アルコール類)については使用时乾燥かぶれ等注意

科目名	学科/学年	年度/時期	授業形態	
社会人基礎講座	ビューティコーディネーター学科/2年	2026/通年	講義	
単位数または時間数	必修・選択必修・自由選択		担当教員	
3単位 (36時間)	必須		大西 歩未	
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされるスキルを学ぶ ・就職に向けての事前準備 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての基本的な考え方や仕事をする上で必要とされるコミュニケーションスキルを身に付ける ・学び続ける習慣を身に付けることで成長できる人になる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		日本ネイリスト協会常任本部認定講師として協会活動に従事し、検定試験官、コンテスト審査員、セミナー講師等20年の認定講師経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に関する準備等自ら積極的に行う 				
回	テーマ	内容		
1~10	ビジネスDXと生成AI活用リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・DXの基礎からデータ思考、生成AIの仕組みと実践的な活用術を学び、ビジネス変革を推進する力を養う 		
11~18	社会人基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要とされるスキルを学ぶ ・就職に向けての事前準備 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料 		課題・レポート 実習・実技評価 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	